英語技能別演習：再履修　第2回

自己紹介の続きと、英語の音

志柿 浩一郎
Koichiro Shigaki

2026年度 秋学期　木曜4限

今日やること（多分来週も）

今日は説明が多い。全部は終わらないので、残りは来週の始めに回します

- アナウンスメント・授業サイトの内容説明・授業外活動でリーディング以外でやってほしいことの詳細とやり方（方法）
- 英語の音の特徴について（音読、リスニング、スピーキングやるなら、この特徴知るといいって話し）
- （時間の余裕がありそうな場合）自己紹介の続き、そこから会話を少しでも続ける方法（なければ来週の始め）
- まねて言う課題の進め方（できればこっちを今日やってしまいたい）

授業サイトと学習プラットフォーム

毎回ここから始めます。入れない人は今のうちに

授業サイト

各回の内容と課題をここで確認します。

koachshigaki.info/fall2026/sairishu/

学習プラットフォーム

まだ登録できていない人は、今ここでやります。

gengodojo.app/login

課題を出す

メニューの「この授業の課題」から提出します。

先生からのコメントを読む

メニューの「先生からのFB」を開きます。

学習の記録を残す

「ポートフォリオ」に、授業外でやったことを書きます。

今日の最初の記録

授業外で英語に触れたことを、まず1つ書いてみます。

多読に関して

授業の外で何をやるか、その1つ目。詳しくは授業サイト「授業外の67.5時間」

なぜ、話す授業で読む話をするのか

英語に触れる量を増やすためです

- 授業の外で英語に触れる環境をつくる。そのための方法の1つです
- 読む量が増えると、言いたいことに使える言い方が増えます

多読の方法

頑張って読む、ではない

- 可能であれば、わからない単語が1ページに数個程度のもの

- 最初はメインポイント（全体の主旨）をつかむことを目指して読み、細かいところは見ない
- どうしても知りたい場合は、メモをとり後で読み返す

多読の方法（続き）

なるべくたくさん、わかるものを大量に読む

- わからない単語があっても、周りの文から予測する訓練をする
- 読んでて楽しいもの選ぶこと
- きついなら、休む。読んでて、すっと頭に入らないのであれば、入るものから読む

映画やドラマに関して

授業の外で何をやるか、その2つ目

字幕付きでいいんですか？

字幕の話でよく聞かれるので、先に答えておきます

- 字幕付きでいい。訳わからない状況はなくす
- 最初は英語字幕にしておく
- 次に日本語字幕でみる
- 以上のことをやる気力も時間もないという場合は、
- つべこべいわずにとにかく見て楽しめ（というだけの話）
- 英語のインプットを増やす作業の一つ

YoutubeなどのSNS上のコンテンツに関して

授業の外で何をやるか、その3つ目

なんでもいいのか？

何を見ればいいか、の基準

- 学習対象言語（この授業の場合は英語）であれば、なんでも構わない

- 英語のインプットを増やす環境をつくるためにやる
- 少し日本語が入っていても構わない（Kevin's English Roomとか、だいじろー、Mayu E roomとか。先生は好きじゃないけど）
- 例は授業サイトの「学習リソース」に貼ってある（ドラマ・映画、YouTube / Instagram、多読サイト）

質問ある？

ここまでが授業外の話。ここから自己紹介の続き

自己紹介で見える文化差

先週の自己紹介の続き。日本語の自己紹介を英語にすると、何が起きるか

自己紹介で見える文化差：先生の場合

配布資料の1枚目と同じもの。日本語と英語の自己紹介を、互いに訳して4つ並べてあります。まず読んでみてください

日本語で行う自己紹介と、英語で言う自己紹介の違いはなんでしょう

日本語で行う自己紹介

はじめまして。北海道大学メディアコミュニケーション研究院および外国語センターに所属しております志柿浩一郎と申します。英語を担当しております。専門は、マス・コミュニケーション研究およびアメリカ研究です。以前は東洋大学というところに務めておりました。高校卒業後アメリカの大学に留学し、その経験をもとに皆さんの英語学習のお手伝いができればと思っております。よろしくお願い申し上げます。

英語で言う自己紹介

Hi! I am Koichiro Shigaki. I go by the name Koach. My friends in the U.S. gave me this nick name as they could not pronounce my name. So please call me Koach. I am currently teaching English at Hokkaido University while studying mass communication and American media history. I have studied communications and mass communication in the U.S. after I graduate from a high school. I am here for you to help learning English and communication. I would like to help your learning based on my experience being in the U.S.. Nice to see you all.

上の紹介文を、和文は英語（下）に、英語は日本語にしてみますので、大きな違いは何か考えてみましょう。

和文を、そのまま英語にすると

Nice to meet you all today. My name is Koichiro Shigaki. Currently I am affiliated to the research faculty of media and communication as well as language learning center. I am responsible for English classes. My emphasis of study is mass communication and American studies. Previously, I worked for Toyo University. I went to the college in the United States after I graduate from a high school. I would like to be your help for learning English based on my experiences. Thank you.

英文を、そのまま日本語にすると

こんにちは。志柿浩一郎といいます。Koachって呼ばれています。アメリカにいた友達が名前を発音できなくて、つけてくれたニックネームです。コーチって読んでもらえればと思います。今は、英語を北海道大学で教えています。また、マス・コミュニケーションとアメリカのメディア史を研究しています。高校卒業後、アメリカの大学でコミュニケーションとマス・コミュニケーションについて学びました。皆さんの英語学習のお手伝いをするためにここにいます。アメリカにいた経験から皆さんの学習のお手伝いができればと思います。Nice to see you all.

自己紹介で見える文化差：学生の場合

配布資料の2枚目と同じもの。皆さんが先週書いたのは、4つのどれに近いか

日本語で行う自己紹介する場合の思考と、英語圏の自己紹介のときの思考回路

日本語で行う自己紹介

こんにちは、はじめまして。志柿浩一郎っていいます。北海道大学の学生で1年生です。趣味はダンスとか、絵を書くことです。テニスサークルに所属しています。よろしくお願いします。

英語で言う自己紹介

Hi. I am Koichiro Shigaki. Please call me Koach like coach for basketball teams. My friends in the U.S. called me Koach as they cannot pronounce my name. I am studying communication. I love dancing and drawing in free time. I also play baseball at the baseball club at the university. Nice to see you all.

上の紹介文を、和文は英語に、英語は日本語にしてみますので、大きな違いは何か考えてみましょう。

和文を、そのまま英語にすると

Hello, nice to meet you. My name is Koichiro Shigaki. I am a first year student (I am a freshman) at Hokkaido University. My major is communication. My hobby is dancing, and drawing. I am a member of the tennis club at the university. Thank you for listening.

英文を、そのまま日本語にすると

こんにちは。志柿浩一郎です。バスケのコーチって感じでコーチってよんでください。アメリカの友達が自分の名前発音できなくてくれたあだ名です。コミュニケーションを専攻していて、それについて勉強してます。ダンスが好きで、時間があるときは絵を書いたりもしてます。また野球部で野球の練習もしています。

Creating
A First Impression

じゃあ英語の自己紹介は、どう組み立てるか

自己紹介のフレーム（英語）

自己紹介を組み立てる5つの問い。1と2は必須、3以降は状況次第

- Step 1: How do I want people to remember me? [Who are you?]
- Step 2: What do I want people to remember about me now? **[What are you doing? / What do you do?]**

自己紹介のフレーム（英語）続き

3以降は状況次第

- Step 3 (optional): What do I want people to remember about my skills / abilities / talent / etc [What can you do?]
- Step 4 (optional): What do I want people to know about my career focus / academic focus / etc **[What will you do / What did you do?]**
- Step 5 (optional): How do I want people to keep me in mind for the future? [What can we do?] (Future goal)

そろそろ卒業してほしい表現

通じます。通じるけど、という表現

よくある間違い（通じはするが）

言い換えると、会話が転がりやすくなる形

- ❌ I belong to the tennis club / the department of science.

- ✅ I play tennis (and I'm in the tennis club)
- ❌ I enter the university.（物理的に建物に入った？）

- ✅ I study ___ at university.

言ってもいいけど、だけどって表現（通じはするが）

同じく。間違いではないけど、こう言えると楽

- ❌ My hobby is reading
- ✅ I love reading (a bookworm)
- ❌ I can't speak Greek
- ✅ I don't speak Greek

日本語の発想

日本語で考えて英語にすると、こうなりがち。悪いという話ではない

- 例. I am a student at Hokkaido University. My major is economics. My hobby is reading. Things I like to do are playing games.

- 例. I am a Hokkaido University student and I belong to the department of economics.
- 例. Why did you come to Hokkaido University?
- 例. What is your job? What is your hobby? What is your major? What is your….?（連発すると警察の尋問みたい）

日本語の発想が悪いというわけではなく、それらが英語を聞いたり、反応しようとした時に「英語がわからん」原因になってる可能性があると、理解するといい

これが今日いちばん言いたいこと

日本語にあまりない発想がある

こういう聞き方があると知っておくと、聞かれたときに慌てない

- What do you do? = what is your job?
- What do you like to do? = What is your hobby?

- What brought you to….
- その他

音読を通してインプットしつつ、英語のインプットを少しづつ増やして、日本語にはない発想や、音・リズムを少しづつみにつけていく

自己紹介の話はここまで。ここから先は「音」につながります

Chunk Reading（チャンク読み）

声に出すときの基本の読み方。切り方の話は次回

- 例文を3〜5語ずつ区切って音読
- → 意味のかたまりで理解する習慣をつける → 意味の塊で息継ぎやポーズを入れられるようになる → イントネーションやリズムを理解できる → 英語のインプットがしやすくなる

- 例）Nice to meet you all. / I'm from / Sapporo, Japan.

生成系AIをどう使用していくか

自分が声にする英文を作るための道具

声にする英文を、自分で作る

まず、声にする文を自分で持つ

選択肢

テーマは何でもいい。書きやすいものから

- 自分たちの興味関心のあること、でグループ全員楽しめそうなもの
- 大学の専攻に関係するテーマ（経済、理系総合 = 物理、化学 etc）

- ちょっとした日常の問題（大学は必要かどうか、一人暮らしか実家ぐらしか、など）
- よく聞く社会問題（関税と経済、環境問題、etc）
- 自由に自分たちで決める

生成系AIを使ってみよう

AIは補助。最初は自分で書く

- 例：ChatGPTで自己紹介文を修正する（最初は自分で書くこと）
- 自分の情報を入力して英語に変換
- 注意点：出力結果をそのまま利用しないこと！学習の補助として使おう

このあと、チャットで話す練習をやってみます

画面でやってみせます。見てから、自分でやる

- プラットフォームの中で、AIを相手に英語でやり取りします
- まず先生が画面でやってみせます。そのあと各自で1往復
- 相手はAIです。間違えても誰も困りません。人とやる前の練習台
- **有料のAIを組み込んであります。**皆さんの追加負担はありません
- API という仕組みで、外のAIをこの画面から呼んでいます
- コストの都合で最新モデルでないものもありますが、練習には十分です

授業内外課題を実施する理由

単「やらせよう」としているわけじゃない

理由

単「やらせよう」としているわけじゃない

- 英語嫌い多いと思う。これは英語が少しでもできそうだという感じを掴めば、嫌いという感情がなくなる。
- ＝ 英語がイヤだと思う気持ちが起きにくいように、あまり頭を使わなくても機械的に作業するようなタスクを組み込みたい
- 自分の関心のある領域での英語情報活用能力の強化
- 語彙を増やしていく作業：意味ばかりでなくて、音声・意味・統語情報を総合的に身につける方法

英語嫌いでもいいから、しばらくやってみな…的な作業をやっていきたい

「英語＝問題を解く、翻訳する、読み上げる」から、いったん離れてもらいます

なにか学習方法で提案があれば言ってほしい

何もしないは「なし」

まねて言う課題について

考えずに口が動く状態を目指す。完璧な英語ではなく、通じる英語

この課題で何を鍛えるか

考えずに口が動く状態を目指す。完璧な英語ではなく、通じる英語

- 短いテクストを、見本の音を聞いて、そのまま真似て言う。それだけ。
- 意味を考えてから訳して言う、ではなく、聞こえたとおりに口を動かす。
- 見るのは点数ではなく、回数。1日10〜15分、続いたかどうか。
- テクストは自分で作る。先生が配ったリストを読むのではない。自己紹介の1〜2文から始めて、慣れたら少しずつ長くする。

この課題は、毎週出します

締切は毎週日曜の23時59分。10月11日から

- 週に1本。13本あります。12月27日と1月3日は年末年始で休み
- 毎週の分は、出したか出さなかったかだけを見ます。点はつけません

- そのうち4回（11月8日・11月22日・12月13日・1月17日）は、中身も見ます。ここには点がつきます
- 遅れたときに満点が下がるルールは、この4回にだけかかります

声にする練習の説明

ただ読み上げることではない。いい、真似だよ。真似

- 作成したテクストで声に出す練習、ただ読み上げればいいというわけではないことは理解すること
- センテンスレベルで音、イントネーション、アクセント、ストレスをチェック、その音を自分で口で言って再現できるように練習。グーグル翻訳機の読み上げ機能、またはマイクロソフトの読み上げ機能を使用して、音声をチェック、真似または音声を自分で再現する。いい、真似だよ。真似

声にする練習の説明（続き）

いい、真似だよ。真似

- 口で声を出して練習、余裕があれば音読スピードを測定する

- 上手な人（上手だと自信がある人）は、自分の感覚、声質を活かして、誰かに読み聞かせるつもり、あるいは自分がドキュメンタリーの解説をしているような感じで、自然に読む練習をする

まねて言う課題を出す

学習プラットフォームで。初回・第2回で確認した画面です

- 「この授業の課題」からまねて言う課題を開く
- 自分で作ったテクストを入れる。見本の音を聞いて、真似して練習してから、自分の声で録音して出す
- 自動で返る評価とアドバイスを読む。先生のコメントは「先生からのFB」
- 直したところを「ポートフォリオ」に残す
- 雑でいいから回数。毎週1本

英語の音について

ここからが今日の本題。音読、リーディング、リスニングをやるなら、先に知っておけって話

空耳

まずこれから

空耳

冒頭だけ流します。何に聞こえましたか

https://www.youtube.com/watch?v=nfWlot6h_JM

空耳

同じ曲を、和訳つきで

https://www.youtube.com/watch?v=cogYZb4kz-g

もうひとつ。これは何と言っていますか

Wu-Tang Clan

英語の音を知る

英語の音の作り方、3つ

- 子音が強調されて、母音は弱くなる。（子音の後に母音が来る場合）
- リエゾン: I am… => AmまたはMに音が近くなる。
- 子音の音が変わる。

日本語の場合

日本語の音の作り方。ここが英語と違う

- 日本語は母音を強調して発声することが多い
- 子音の次に必ず母音が来る
- わたし= wa ta shi、僕 = Bo Ku
- Vowel (母音) = a e i o u, とY
- Consonant (子音) = 上記以外で記される b, c, d, f などの音

日本語で母音を強調して発声する = 無意識に母音の音を聞き取ろうとする。
子音が強調される英語の音が聞き取れる脳ではない

だから聞こえない、の理由

英語が早く聞こえる理由、聞き辛い理由

聞こえない理由を、3つに分けると

- 日本語に慣れているので母音を聞こうとする。
- 全ての単語、文が聞こえるはずという錯覚
- 綴りと実際の音、発音するべきとされる音と実際の音の違いがあることに気が向かない。

日本語の特徴

日本語は、どこを削って効率よく話すか

- それほど重視されない言葉がカットされても文を理解することができる。（人間関係、コンテクスト、背景が重視される言語の特徴）
- 人間関係をより重視する日本語などの言語は、丁寧な文よりもカジュアルな文の方が短くなる
- 言葉をカットしたり省略することで、対話（コミュニケーション）の効率化を図る言語

日本語の例

削っている例。日本語だと自然すぎて気づかない

- 明日、時間ある？
- ＝ 明日、（君は）時間（が）ある（ありますか）？
- 宿題、やった？
- ＝（あなたは、かれは、かのじょは、みなさんは）宿題（を）やった？（やりましたか）

英語の特徴

英語は、どこを削って効率よく話すか

- 主語・述語を必ず示すといった文法もあって、言葉をカットすることは基本的にない（スラングや慣用句でない限り）

- 英語のような言語は、音（特に母音）をカットしたり弱くすることはできる
- 主語と動詞がかならず必要な言語や、言葉をカットできない言語は、音を変化させることで効率化を図る

英語の音…

削った結果、日本語の耳にはこう聞こえる

- Do you have time tomorrow?
- (Actual sound) = Jyu, ab TaiM TuMoRo?
- ジュ・アブ-タイン・トモロに聞こえる
- ドゥー ユー ハブ-タイム トゥモローとは言っていない…文字はそう書いてあるじゃないか（音は出しているのだけど）

The importance of efficiency

ここまでの話を英語で言うと。読めなくても構わない、次の例で見ます

English uses sound efficiently

English uses sound efficiently, while also using consonants to clearly convey a point. Languages that focus less on self-expression and more on human relationships use sound in a different way. Instead of minimizing vowel sounds to be more efficient, human relationship-based languages cut entire words.

日本語で

英語の特徴として、音を省略して効率化を図ると同時に、子音の音を強調することで言いたいことを伝えようとします。他方で、人間関係をより重視する言語（日本語、韓国語、一部のヨーロッパ言語など）は、効率よく会話するために単語などを省略します。

The some basic rules

まず、文字どおりに読んでみてください

- Hello, my name is Marica
- The Plane is ready to take off

よく出る形 1

よく出る形。カタカナは聞こえ方をつかむためのメモで、発音の規則ではない

文字	実際の音
I want to	I WaNNa
S/he wants to	S/he WaNTA
I am going to	I GoNNa
I have to	I aFTa
I should do	I ShuDa

よく出る形 2

続き。聞こえたとおりに自分でふりがなを振っていい

文字	実際の音
Thank you	DanGyu
I think it is good	(I) DinGit Gu(D)
He has to go	e haZTa Ga
I like him	a LiK-iM (or LiKiM)
Pleasure to meet you	BuLeZya Ta MeaChu

この音、どう変わる？

先に考えてみてください。答えは次

文字	音	文字	音
P		ge (message)	
V		sure (pleasure)	
Th (thank)		th (Bath)	
K		R & L (rural)	
T		Ch	
S		To	
H			

さあ自己紹介したぞ、聞いたぞ。その次は？

All right, I told about myself, others told about themselves. Then, what's next?

音の話はここまで。自己紹介に戻ります

ほんとうに内容聞いてた？聞けた？

自己紹介したあと会話が止まるのは、英語力の問題ではない

- 相手の自己紹介、いま言えますか。名前、していること、好きなこと。
- 自己紹介したぞ、聞いたぞ、で止まるのは、たいてい相手の話を覚えていないから。返す材料がない。
- これは他の受容（reception）にも関係する。会話だけでなく、リスニングも読解も同じ問題。

練習方法: 最初はキーワードをメモる → あとで質問したり確認したりできるように

会話を続けるための、いちばん簡単な練習

Open-ended question

Closed-ended question

質問には2つの型がある

Open-ended question

A question that you may get many different answers

1つ目

Closed-ended question

A question that may get only yes or no, or limited answer.

2つ目

Mix both questions to keep conversation going

会話・対話を継続するには、両方の質問型を使用して継続する

両方混ぜると、会話が続く。この後やってみます

やってみる：自己紹介を聞いて、続ける

ペアで

- 相手の自己紹介を聞きながら、キーワードをメモる。
- メモを見て、Closed-ended question を1つ、Open-ended question を1つ聞く。
- 相手の答えに、もう1つ質問を足す。まず1分、続ける。
- 役を交代する。
- 通じなければ言い換える。わからなければ、わからないと英語で言う。

チャンク・リーディング

Chunk reading

次回はここから。文をどこで切って読むか

次回までの課題

授業サイトにも書きます

- 「ポートフォリオ」に、授業外で英語に触れた記録を1つ入力
- 自己紹介文を英語で作成（配布資料の Step 1〜5 を参考に）

- AIツールを使って英文修正の練習をしてみる

次回までの課題（続き）

第2回｜自己紹介の続きと、英語の音

- 生成したテクストや、英文を音声読み上げアプリなどで聞き、真似をしてみる
- 学習プラットフォームで、自己紹介の1〜2文を見本の音を真似て自分の声で録音して出す（読み上げではなく、真似）

- 締切は10月11日（日）23時59分。ここから毎週1本です

質問ある？

授業のあとでも、メールでも